

## アマダ「レーザ・溶接事業」の強化に向け、 アマダウエルドテック社を吸収合併

さらなる変革と挑戦に向け、グループ統合によるシナジーを活用

株式会社アマダ(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長執行役員:山梨 貴昭)は、中長期の経営計画の達成に向けた事業強化の一環として、2024年4月1日付で株式会社アマダウエルドテック(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長:辻岡 寿康)を吸収合併します。

アマダグループは中長期経営計画において、成長事業と位置付けている一つが「レーザ・溶接事業」です。本事業の2022年度の売上高は1,133億円でしたが、2030年度には2,000億円へ拡大する計画です。中長期の経営計画を達成するために、両社のレーザ・溶接事業を再編します。

アマダウエルドテックは、世界に先駆けてレーザ溶接機の開発・販売を行うなど、長年にわたり微細溶接技術やアプリケーションのノウハウを培ってきました。そこにアマダの光操作技術、自動化やNC制御技術などを掛け合わせて、新たな付加価値を創造するとともに需要が高まる医療やe-Mobility、半導体といった分野にもレーザ・溶接技術で拡大を図ります。

10月のPhotonix(光・レーザー技術展)でも、両社の技術を結集したレーザ新商品を発表しました。そして、さらなる拡充のため両社の事業・体制を統合し、開発・研究における迅速な新商品開発、製造・調達の効率化、販売チャネル・サービス手法の融合により、グループ内シナジーを最大限発揮して市場拡大を実現します。

アマダグループは、さらなる変革と挑戦の実現に向けて、社員一人ひとりがお客さまの課題解決を通じて社会の想いをかなえ、新しい未来をともに創る企業として貢献してまいります。

以上